

# 入試からペーパーテスト全廃

私立久田学園佐世保女子高校の久田順子校長



みんなの教育



## 感性の豊かさを作文で

田順子校長「百四十一人」は、来春の入試からペーパーテストを全廃して、作文、オーラル・テスト（口頭試験）、リズムダンスで選抜することにした。同校は明治三十六年創設の伝統をもち「家庭経営者としての賢い母親」を育てること

長崎県佐世保市の私立久田学園佐世保女子高校（久

をめざし、これまでも生徒による手作り給食など、ユニークな実践をしている。久田校長が入試改革のわらい、背景を聞いた。

「やはり、ペーパーテストは弊害が多いですか。」「点数万能主義のもとで

うでしょうが、あれやこれやいいながら、世の中、何もしていないんです」

「そこで、大胆な試みになったわけですね。」「うちの学校は伝統的に良妻賢母の精神を根底にしてきました。その教育目標

にあって今の点数万能による選別がふさわしいとは思えません。点数は取れないけれど、心根は本心に優れ、そんな子がたくさんいます。その子たちは、点数万能の中で、人間的にも劣る、と自分でも考えてしまっている。そういう子供

「良妻賢母」育成の校風にふさわしく

たちに、点数で台首を決めたのではないんだ、という事実を与えてやりたいと思っています」

「感性を重視したいということにもなりますか。」「ええ、これは小学生の話ですが、氷がとけたら何になるかという問いに、春になる」と答えた子がいるそうです。ペーパーテストでは弊害になってしまっています。でもこの豊かな感性は私たちが考えている感性教育には必要なものなのです。知識の量の多さ、少なさとは違う意味での「賢い」母親を育てたいと思っています」

「そういう教育への志向から今度の入試改革も出てきたわけですね。」「ペーパーテストでは測れない感性の豊かさを作文で、そしてリズムダンスでは運動能力や表現能力の優劣といったことではなく、人間としての基本的な動きがスムーズにできるかどうかをみる目やすじしたいと考えています。私たちの考

えたことは何か特別のことではないんです。高校全入に近い状況のもと、有名大学進学をめざすエリート教育がすべてではありませぬ」

### 雑学事典

修学旅行も運動会と同様、近代日本の学校が創り出した独特の行事である。道その始まりは「行軍旅行」とで、一八八六（明治十九）年、高等師範学校に集団訓練の一環として兵式体操（教練）が本格的に導入された際に、教頭の高橋秀夫が、軍隊と全く同一では学校としての持ち味を生かすことができない、「行軍」を実施するにあたって、生物・動物標本本の採集、地形の学習、史跡の探訪など「學術研究」の機能をあわせ果たすべきだと提案し、これに「修学旅行」の名称を与えたいと未

修学旅行

料に願7員四0末かッ